

建設候補地周辺自治会説明会要旨

- 1 説明会 新しい一般廃棄物処理施設整備に関する
建設候補地周辺自治会説明会（第9回）
- 2 開催日時 令和6年1月28日（日）午前10時から午前11時15分まで
- 3 開催場所 弥栄市民センター平沢分館
- 4 参加者 19人（傍聴者は、一関市議会議員1人）
- 5 事務局
佐藤善仁管理者、石川隆明副管理者、佐藤正幸事務局長、
菅原彰一関清掃センター所長、蜂谷敏志大東清掃センター所長、吉田健総務管理課長、
菊池弘総務管理課施設整備係長、石川勝志主査、日下尚也主事
一般財団法人日本環境衛生センター3名（以下、日環センター）
オブザーバー参加
一関市建設部道路建設課 佐藤義亮道路建設課長 菅原久和主幹
〃 農林部農政推進課 佐藤正彦農政推進課長、佐藤雅弘農政企画係長
〃 林政推進課 小山敏典林政推進課長、櫻田亮介主任主事
- 6 説明
(1) 施設整備の今後の進め方
(2) スケジュール
- 7 あいさつ
本日はご多用の中、説明会へ参加いただいたことに対し感謝を申し上げます。
新処理施設の今後の施設整備の進め方についてお話させていただきたく、このような
場を設けたところである。
- 8 説明内容
(1) 施設整備の今後の進め方について
配付資料に沿って管理者が説明を行った。
(2) スケジュールについて
配付資料に沿って事務局が説明を行った。
- 9 質疑応答
参加者 今回のこの焼却場や最終処分場の整備にあたり、市民の興味が出ているうちに全
体的なごみの減量化に対する政策や、温暖化に対する政策をリンクして行ってほし
い。

今まで管理者には、組合事務局から報告が上がってきていたと思うが、それぞれ

の立場の違いというものがあり、組合の報告と地元の意見では、ずれがあるかと思う。今日は良い機会なので、地元の皆さんには意見があればしっかりと届けてほしいと思う。

管理者 1点目については、組合としてはもちろん、一関市としても推進したいと考えている。2点目の、施設整備に関する様々な考えや主張については、説明会の都度、組合事務局から報告を受けており、その内容を踏まえ今日の説明会に至っている。本日も色々な観点からご意見をいただければと思っている。

参加者 道路整備について、狐禅寺から市道弥栄線や市道平沢10号線をつなぐ道路の整備、花泉から市道一ノ沢釜ノ沢線をつなぐ道路整備について、検討するという解釈でよいか。

副管理者 花泉から市道一ノ沢釜ノ沢線をつなぐ道路整備については、現在も市道岩崎一ノ沢線が途中までは改良済みの路線であり、これまでの説明会等でも何度かお話いただいたため、私も承知はしていた。今後も継続して協議していきたい。

狐禅寺の方の路線については、正式な場で話をするというところまで至っていないという認識である。これから持ち帰って、その背景にあるものと併せて検討させていただきたい。

参加者 施設については、色々な規格をクリアした内容だということでは理解しているし、地域の人、どこかには建てないといけない、やむを得ないという認識のところまで来ていると感じるが、施設を作るときに、その建物に関してだけの説明でいいのかと疑問である。

そこにつながる道路、あるいはその周辺の道路について、踏み込んだ説明がされるのはいつかと思っていた。場違いの質問にならないよう、道路に関する説明があれば、その時に話そうと思っていたが、質問ができないまま今日に至っている。

地域の人が困っていることや心配していることはどうなるのか。環境影響評価では動植物の生態等といったところまで踏み込んで調査しているようだが、地域の人たちの生活については、いつ要望できるのか。

例えば、田や畑まで行くために、歩いて国道を横断する方や、通学する方、高齢者といった人たちがいる中で、施設稼働後に問題が出たら、その都度、地域から要望を出して解決していくというやり方で、果たして本当に良いのか。

2か所の施設が1か所になることによって、本郷から平沢バス停の間は、すべての収集車が通るようになる。つまり交通量が増えるようになるため、その間に生活している平沢地域の住民の安全がなくなる。道路の安全が確保されないまま、子供や孫の時代になっては困る。

今後そういった問題を解決してもらえるのか、特に道路の件については、今後要望を出して間に合うのかということも教えてほしい。

副管理者 周辺の道路について、これまでに具体的なご意見をいただいているものもあり、他の要望等をお持ちの方もいると思う。施設整備を進めるに当たり、交通量の問題については、交通量調査を行った結果をお示しし、右左折レーンの設置も含め、地元の方に支障が無いような形での国道284号との交差点改良を検討していることは、これまで説明しているとおりであります。

他の路線については、地域課題として、今後の進め方やその対応を相談させてほしい。入口とすれば、まず区長さん方とお話をさせていただき、その中でこういった形で協議をしていくのが良いのかについて話し合いたい。

参加者 管理者の説明だと、この新しい施設整備に1つの区切りが付き、今後は具体的に地権者の方へ用地の売買交渉に入っていく考えのようだが、これまで調査や測量などご苦労されたものと思う。

今までの説明の中で、取付道路については、国道284号の一方方向から処理施設へ入るとしている。

今後、大きな災害を想定した時に、国道284号からの取付道路だけでいいのかということを考えておく必要があると思う。もしそこが寸断された場合に、どこを通過して処理施設へ運搬するのか。そうした場合を考えた時に、必然的に南北に花泉に抜ける道路の整備が必要ではないか。昨年、市から県に具体的な要望を出されたかと思うが、この国道284号の改良となれば現状のルートの中での改良工事となる。災害が起きた時に毎日稼働できるような施設にするためには、もう1本取付道路が必要になってくると思う。

副管理者 花泉への市道の整備について、災害時の稼働も含めて貴重なご意見をいただいた。そのことについては、これまで何度もご意見をいただいている。道路整備は地域の皆様と一体となることで進められるものであるため、施設整備の面だけでなく、地域の生活という面も含めて皆様とご相談しながら検討させていただきたい。

参加者 一昨年、対策協議会で地域内のアンケート調査を実施した。全戸で100戸ほどあるうち、7割から回答をいただき、回答いただいた3割が反対、残りの7割は必要な施設であるためやむを得ないという結果であった。消極的な反応の方が多いと捉えていただければと思う。いずれどちらの立場においても住民が気にしているのが環境汚染と道路の安全の確保の部分である。

環境汚染については、環境アセスの方で調査結果が出ており、地下水も利用しないということなので、井戸についても問題ない。施設が完成した後は、継続して

調査するということから、ある程度不安は解消されているのではないかと思う。ただ、反対されている3割の方は、ほとんど説明会に出ていないので、理解されたかはわからない。

道路の安全性については、先ほどから皆さんがお話ししているとおり、国道284号から入る交差点のところだけを見ると、現状の2車線から、4車線になる案となっている。そこに横断歩道もなし、信号機もなしといった場所を横断するとなれば、非常に危険が大きくなる。

高校生などはバスを利用している。バスの待避所の配置についてはこれから決定していくものと思うが、夕方の暗くなった頃に、この交差点を横断しようとしたときに、何の整備もないとなると不安が大きい。もっと積極的に安全対策を検討していかないと、施設整備は難しいといった認識をもって、より強く要望して欲しい。

副管理者 道幅が倍になってしまうといった技術的な面も含めて、安全対策について道路管理者である県や公安委員会と今後も協議してまいりたい。

参加者 未完成の道路の整備について市道路建設課に伺ったところ、3か年の計画に入っていないためできないと言われた。計画に入っていないためできないのであれば、計画に入れればいいのか。

平沢地区の住民としては、市の施設を建てるのであれば、何かメリットがあってもいいのではないかと思う。道路整備をもう少し頑張ってもらいたい。

副管理者 市の方でも、いただいている要望については把握しているが、時間が経ったことで状況が変わっている部分もある。これまで要望いただいた道路関係については、まとめて全体を整理しながら、検討を続けてまいりたい。

ただ、これまでの説明会等で強く要望いただいている部分については、先行して検討してまいりたい。

参加者 余熟活用について、農業利用の案が出ているが、農業を今後どうしていくか考えた時に、後継者がいない場合、どう進めていいかわからず、なかなか先に進めないという実態がある。

地域の中では、施設ができることによるメリットが何かないと、積極的に賛成できないというところがあるので、様々な助言をいただきながら進めていければ良いと思う。

また、防災機能ということでスペースを確保するという話だが、災害時だけではなく、普段も地域として使えるようにしていただければ、地域としてもメリットが出てくるのではないかと思う。

事務局 防災機能について、避難所スペースを考える際には、何か起こった時のことを想定して検討しているため、普段こういった使い方ができるかというのは、今後、地域の皆様の意見も踏まえながら検討してまいりたい。

参加者 道路について、こういったスケジュールで要望を出して進めていくのか、その方針を示していただきたい。一番弱い立場の歩行者が守られる道路にしてほしい。

また、感応式の交差点となると、国道284号が機能しなくなってしまうのではないかと。ましてや、収集車が往来する度に止められては別の問題に発展しかねない。個人的には、信号機を設置していただき、押しボタン式としてほしい。いずれ、施設を建設する前に、弱い立場の歩行者が守られる道路整備を検討してもらえればよいと思う。

施設を建設すること自体はやむを得ないといった雰囲気になっているため、スケジュールをしっかりと提示して、色々な要望を伝える場所を設けていただきたい。

管理者 本日は様々な観点からのお話をいただいた。減量化、温暖化、防災面や農業利用等のお話をいただいたが、やはり一番多いのは道路整備についての話である。

メリットは何かというお話をいただいたが、一度整理させていただくと、今回の説明会では、新処理施設やリサイクル施設を作らせていただく中で、そこから発生する自動車の交通量の予測もさせていただいた。それが現状の道路状況に上乗せになった場合にどうなるかということは以前に説明させていただいていることと思う。上乗せになる台数も多いが、それ以前に国道284号という道路の交通量がかなり多いということがある。もともと多いところに上乗せになるため、全体としては大きな差が出てこない。

私は新しい一般廃棄物処理施設の建設、運転管理を行う一関地区広域行政組合の管理者であるが、もう一方で一関市の市長でもある。

地域づくり、まちづくりといったところは組合ではなく一関市の仕事であるため、一関市として、こういった形のものがあるのか、例えば道路整備や新施設の防災機能について、あるいは余熱の活用等も含めて、施設整備とは別に検討していくものだと思う。

具体的なスケジュールについては、話し合いの場を並行して進めていくことを考えている。

参加者 計画には、必ず予算がついてくると思う。道路関係の話について、組合及び一関市は、予算を基に回答されていると思うが、予算よりも我々生活者としての意見、要望を優先すべきであると考えている。

今までの意見をこれから検討していくにあたって、足りない予算をどうにか持つ

てきて補うくらいしないと、我々生活者としては納得ができない。

副管理者 これまでにお示ししている予算は施設本体のみの部分であり、事業全体で、例えば地域振興を含めた地域づくり、道路整備を含めての予算ではない。

そのため、今までいただいている意見を踏まえ、皆様の思いも伺いながら検討していきたい。特にも先ほどから道路整備については多くご意見をいただいているため、まずは区長様方と意見交換をさせていただきたい。

10 担当課 総務管理課